

2. 第2期うきは市 ルネッサンス戦略

(1) 基本的な考え方

① 戦略策定の目的

本戦略は、平成 27 年度に策定した「うきは市ルネッサンス戦略」で取り組んできた人口減少対策を選択的に集中してさらなる効果を上げていくことを目的とします。また、国の地方創生に関する新たな動きも踏まえつつ、うきは市の地域資源を最大限活用して発展方向を導いていくこととします。

本戦略に盛り込まれた施策や事業を実行することにより、地域経済の活性化や地域の環境整備を進め、誰もが住みよいふるさと「うきは」を形成し、さらには、持続可能な地域形成に必要とされる人口の維持を図ることを目的として、第2期うきは市ルネッサンス戦略を策定します。

本目的を実現するために、国が第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示す地方創生に係る以下の4つの基本目標と2つの横断的な目標について対応を図ることが求められています。

特に、横断的な目標2では、「国連の持続可能な開発のための国際目標であるSDGsの達成に向けた施策の展開」や「未来技術を活用した地域課題の解決に向けた Society5.0 の推進」などを重要な視点として位置付けるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた「新しい生活様式」を踏まえ、社会経済活動を推進するための戦略を策定します。

基本目標 1	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
基本目標 2	地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
基本目標 3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標 4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
横断的な目標 1	多様な人材の活躍を推進する
横断的な目標 2	新しい時代の流れを力にする

② 計画期間

令和 3 年度

～

令和 7 年度

の 5 年間 とします。

1. 第2期うきは市ルネッサンス戦略

(1) 基本的な考え方

③ 策定にあたっての留意点

本戦略を策定するにあたり、以下の点に留意しています。

1 基本的なスタンス

- ・うきは市の持つ地域資源の活用を図ることにより、うきは市としての独自性のある戦略とします。
- ・うきは市の置かれた社会的、地理的環境を正確にとらえ、周辺市町村との関係や、生活圏を越える広域的な市町村との関係のもと、戦略の構築を図ります。

2 内容について

- ・うきは市の活性化を図る上で求められるソフトな事業を中心に検討を行います。
- ・官民が連携しながら自律的に展開が可能で、即効的に成果が期待できる事業を中心に検討を行います。

3 プロセスについて

- ・産官学金労言等、多様な属性の方々からの提案を踏まえて検討を行います。
- ・多くの市民の参画を得て検討を行います。
- ・行政自らが調整役となり、地域の手によって策定を行います。

④ 検討・推進体制

1 検討体制

本戦略を策定するにあたり、庁内組織として「うきは市ルネッサンス戦略検討本部」を設置し、全体的な方向性を検討するための「本部会」を置きます。

また、専門的な識見や実際に取組を行っている様々な方から意見を集約するために、産官学金労言の分野代表と市民代表から構成される「うきは市ルネッサンス戦略推進協議会」を設置し、多面的な議論を行います。

また、議会との連携を図り、本議会の質疑では対応できない詳細な内容検討について意見交換を通じ、検証を行っていきます。

令和元年度に発生した新型コロナウイルスによって、感染防止への基本対策^{※1}が打ち出され、新しい生活様式による働き方への変化やイベントの対応など今までの手法を見直す必要があり、新しい人口減少対策の取組も必要になっています。

また、本市においては、近年台風や豪雨による甚大な被害を受けたことで住民の生命や財産を守ることを第一に考えることはもとより、災害復旧と減災に向けた取組を今後も継続して行っていく必要があります。

こうした時代や気候の変化を的確にとらえ、適宜柔軟に事業を実施していく必要があります。

2 推進体制

戦略の実施にあたっては、行政が中心になるのではなく、市民や各種団体、企業等が積極的に関わってくることが求められます。また、具体的な事業化に際しては、金融機関との連携を図り、検討したビジネスモデルが円滑に具現化されることが重要です。

事業の実施やPDCAサイクル^{※2}による事業管理を行う際には、KPI^{※3}の検証や事業の進捗状況などをうきは市ルネッサンス戦略推進協議会に報告し、第2期うきは市ルネッサンス戦略の推進を図ることとします。

※1 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い。

※2 Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返すことによって事業を継続的に改善していく手法。

※3 重要業績評価指標。目標を達成する上で達成度合いを計測、監視するための定量的な指標。

(2) 第2期うきは市ルネッサンス戦略

① 戦略展開に係る基本方針

うきは市における総合戦略の基本理念に基づき、これを実現するために以下の4つの基本方針のもと、プロジェクトおよび関連する具体的な施策や事業の展開を図るものとします。また、各基本方針に基づき、KPIを設定し、全般的な目標を明確にしながら、戦略を展開します。



1 うきはの資源活用と新たな雇用の創出



2 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み



3 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市

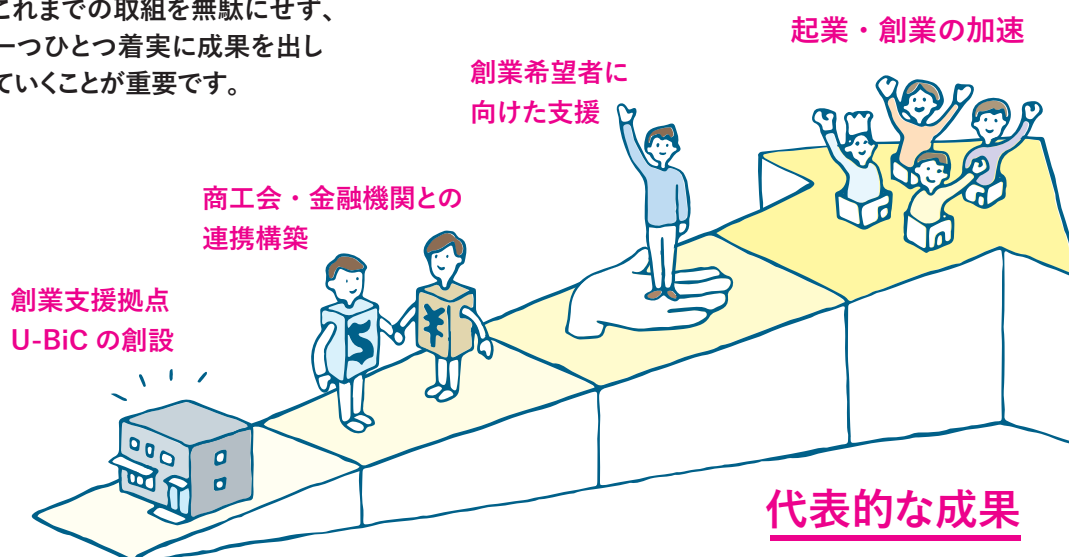


4 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携

うきは市は、第1期うきは市ルネッサンス戦略（総合戦略）に基づいて事業の成果をあげてきました。創業支援拠点 U-BiC(Ukiha Business Cafe) による雇用創出や道の駅を中心とした観光戦略、地理・地勢環境（テロワール）の実証分析に基づいた自然環境のプロモーションなどが具体的な成果です。フルーツをはじめとする農産物の6次産業化や(株)うきはレインボーファームによる営農研修生の受入体制なども整いつつあります。

今後、人口減少に対する抑制効果を生み出していくためには、子育て支援やスマート自治体^{*4} への転換、新しい生活様式への対応など新たな取組も必要です。

これまでの取組を無駄にせず、一つひとつ着実に成果を出していくことが重要です。



*4 デジタル技術を活用して行政の事務処理を自動化したり効率化する自治体。

1. 第2期うきは市ルネッサンス戦略



1 うきはの資源活用と 新たな雇用の創出

概要	<p>うきは市に存在する多様な資源を活かして、新たな産業の創出を図るとともに、既存の事業所への事業承継支援を行い、雇用の場を確保します。</p> <p>これにより、現在大きな社会減を示している若い世代について、高校卒業後の地元就職、大学卒業後の地元回帰等を促進するとともに、起業・創業者等の積極的な呼び込みを図ります。</p>
KPI	<p>市民一人当たりの年間所得額を、現状（平成29年度）の2,398千円から令和7年度には2,600千円へ上昇させます。</p>
ねらい	<p>うきは市の特徴として、豊かで美味しい地下水や温泉、フルーツと、これらを目的とした観光などがあります。一つひとつを磨き上げ、活用し、上手に連携させていくことで、多くの人が魅力を感じるブランドへと作り上げていきます。</p>

事業一覧

1 農業やうきはの水、テロワールを伝承する

KPI 平成22年度以降の新規就農者数 **179人 ▶ 230人**

①収益性の高い農業への転換等の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・産地形成による作物栽培支援 ・新品種栽培等に対する支援や複合的農業経営への転換の推進 ・高付加価値化や農商工連携、6次産業化を推進 ・販売力強化と販路拡大の取組 ・農業生産法人や民間企業と連携した共同経営による農業振興 ・農地へのITセンサー導入やドローンによる薬剤散布等のスマート農業を行う農業者への経済的支援
②農林業の担い手の育成、支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者に対する恒常的な相談窓口の設置や専門相談員の配置 ・新規就農者への総合的な研修 ・居住用家屋の確保と就業地のあっせんをワンセットにした支援 ・新規就農者を受け入れる農業生産法人の活動支援
③良質なうきはの地下水や生物多様性のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水の水質のモニタリングや、うきはの水資源について広報紙やホームページ等で広くPR ・生物多様性に関する市内調査と保全活動に伴う戦略の展開

2 うきはのブランド力を高めます

KPI 観光入込客数 **240万人** ▶ **250万人**

①地域産業資源の洗い出しと商品企画	<ul style="list-style-type: none"> うきはブランドの構築に寄与する新商品や企画、サービスとなり得る素材の活用や認知度向上に取り組む事業者等の支援 既存の地域資源を活用した商品開発やうきはブランド力の維持向上 社会課題の解決に向けて新しいサービスの開発や提供を担う事業者の支援
②DMOを中心とした観光振興におけるマーケティングと広報戦略の立案	<ul style="list-style-type: none"> SNSやブログ解析等でのターゲットを絞った観光入込客への広告戦略の立案 DMOによる観光振興の推進と地域の稼ぐ力を引き出す観光地経営の視点に立った観光地域づくりの実現
③商品の販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口やパートナー企業等と連携した市場ニーズにあった商品の販路開拓 地域おこし協力隊の活用やふるさと納税の増加策の推進
④温泉街のブランドづくり	<ul style="list-style-type: none"> 市内温泉街の観光客回帰に向けた、関係者間の協力によるブランドづくりの推進 新しい生活様式に対応した取組と旅行プランの開発支援
⑤道の駅開発事業	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の増強による誘客につながる開発整備の検討

3 事業や仕事をしたい希望を叶える

KPI 平成 27 年度以降の創業支援実現数 **93名** ▶ **186名**

①児童生徒の地元企業探訪支援	<ul style="list-style-type: none"> 高校生以下の地元企業現地視察やインターンシップとまちづくり活動への協力の取組 就業希望者と地元企業のマッチング
②創業支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 創業希望者に対する起業から起業後のアフターフォローまでの伴走型による支援 副業や兼業を後押しする勉強会やセミナーの開催と社会人の学び直し(リカレント教育) デジタルテクノロジーを活用した市内人材の育成

1. 第2期うきは市ルネッサンス戦略

2 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み



概要	うきは市の魅力を高め、対外的に情報発信を行うことにより、Uターン者など都市部からの人の呼び込みを図り、多様な価値観を持つ市民の連携を高めることにより、地域の活性化を図ります。
KPI	うきは市へのIターン者を、現状（令和元年）の年間 69 人から令和7年には 100 人に増加させます。
ねらい	「住む」というテーマでうきは市の魅力を高めるためには、うきは市の資源を空間的、時間的な切り口で捉え活用を図るとともに、人々が世代を越えて末永く定住できるように、災害に対応した安全安心な住環境や公共交通の整備、うきは市を知り郷土愛を深めることなど、多面的な形での環境整備を図ります。

事業一覧

1 空き家の解消に向けて取り組みます

KPI 老朽危険家屋除去件数 **45件 ▶ 105件**

①まちなみ再生と空き家活用支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地エリア内の空き家情報と利活用希望者をつなぎ、多様な利活用や活性促進 ・空き家物件を確保する中で障壁となる課題の整理と対策 ・古民家の流通促進 ・うきは駅周辺の空き物件を活性化し賑わいの創出
②誘致企業で働く就業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏から移住して就業する者への支援

2 減災・防災のまちづくりを推進します

KPI 自主防災組織率（防災のために組織をつくっている行政区の割合） **81% ▶ 95%**

①防災力強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用した連絡網の構築 ・ 河川氾濫監視システムや避難所対応等の減災に関するICTの活用検討 ・ 避難所施設の通信環境の整備 ・ 自主防災組織化の推進と活動支援や避難訓練の取組
②高齢者安全運転促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が運転する自家用車への踏み間違い防止装置や安全運転支援機能付きドライブレコーダーの設置支援
③公園の再編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点在する公園の適正な管理 ・ 子育て世代に魅力ある公園の再編整備

3 公共交通や周辺整備に取り組みます

KPI コミュニティバスや乗合タクシー、補助金を支出している民間バス路線の総利用者数 **11,027人 ▶ 14,000人**

①新交通システムの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITやAIを活用して輸送を効率化するサービスの実装に向けた課題整理と導入に向けた取組 ・ 観光者の輸送実証試験
---------------	--

4 郷土の魅力を高めます

KPI 関係人口「うきは応援団!!UKIHA FAN CLUB」会員数 **450人 ▶ 1,000人**

①近代遺産の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円形劇場や筑後吉井、新川田籠伝統的建造物群保存地区の地域資源の活用 ・ デジタル技術を用いた地域資源のPR ・ フィルムコミッションによる映画制作
②歴史的な小道を歩くフットパス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耳納山麓や山城跡、温泉、田園など歴史ある地域資源や風景を楽しみながら歩けるフットパスの整備 ・ 森林セラピーにおける体験型プログラムの取組 ・ 多面的な連携による回遊ルートの確保とPR
③現存する歴史的遺産を活かした観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 装飾古墳が集積する地域の価値を見出して保存と活用を図る集客への取組 ・ 棚田の保全と活用による関係人口づくりプロジェクト
④知識や能力を身につける「まなび舎うきは」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人を含む市民が活動や学習を通じて知識や能力を身につけ、地域社会に還元して生涯活躍できる社会を実現 ・ 持続可能な社会に向けたエコミュージアムの実現
⑤移住者向けの街なか案内事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住者が速やかに市内の生活に溶け込めるように買物先や交通手段、子どもが遊べる場所等を地域とともに紹介

1. 第2期うきは市ルネッサンス戦略

3 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市



概要	<p>うきは市が将来的に人口を維持していくためには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要であり、このために各世代の特性に対応する形で環境整備を進めます。また、高齢化が進むうきは市においては、高齢者自体の生きがいづくりや社会参画を高めていくことが必要であり、この活力を子育て環境の充実に活かしていくことも重要です。</p>
KPI	<p>うきは市の合計特殊出生率（ベイズ推定値）を、現在の1.65（平成25～29年）から令和7年には1.80まで上昇させます。</p>
ねらい	<p>子育て世代への支援を充実強化し、子育てしやすいまちにしていくことが目的です。また、すべての世代が安心して生活できるうきは市の形成を図るとともに、健康づくりに力を入れ、安定した社会保障制度を維持していく必要があります。</p>

事業一覧

1 子育て支援を推進します

KPI 保育所入所待機児童数の減少 **5人 ▶ 0人**

① 小中高校における人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの教育等を通じた地元への理解や愛着の醸成 ・地域と協働して地域を支える人材の育成
② 地域協働等による高校の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・高校と地域の多様な主体が連携し、高校生の興味関心と地域の課題を丁寧に取り合わせるための協働体制組織（コンソーシアム）の構築 ・地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現する取組
③ 子育てママの働く応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・起業や就業を目指す女性等に向けた講座の実施や情報提供、相談 ・U-BiCにおける女性の短時間就労支援等の取組の加速化

2 結婚と出産したい希望を叶えます

KPI 平成 28 年度以降の結婚新生活支援金交付件数 **28 件 ▶ 78 件**

①結婚理解促進活動	・ 配偶者に出会う場や機会など婚活への理解促進
②出産や不妊にかかる経済的支援	・ 不妊治療への支援 ・ 産後ケア事業の充実等を通じた妊娠や出産への支援
③子育て世帯への支援	・ 出産応援金の給付

3 うきはっ子が世界に羽ばたく教育を推進します

KPI 自尊感情の向上（全国学習状況調査の4段階自己評価）で、将来の夢や目標があるに4「そう思う」と回答した中学3年生の割合 **35.9% ▶ 40.0%**

①英語力アップと異文化理解の相互交流	・ 幼稚園、小中学校での英語力向上の取組 ・ 近隣大学等と連携した外国人留学生等との英会話や異文化の相互交流
②ICT教育の充実	・ タブレット端末や情報通信ネットワークの整備 ・ ICT専門コーディネーターの配置 ・ 学力向上に向けたプログラミング教育等の推進
③子どもの生きる力の育成	・ 体験学習や自然活動を通じた生きる力やたくましさの醸成 ・ 離島での体験活動等と人的交流の推進 ・ 中学校部活動指導コーディネーターの配置
④豊かな心育成事業	・ 音感（リトミック）教育や文化教育など人間の感性を活かす教育の提供 ・ 講師による保育士等への指導 ・ 専任スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置

4 「うきは市 = 健康のまち」を推進します

KPI 市が主催や共催するスポーツイベント数 **4 事業 ▶ 8 事業**

①スポーツと予防医療活動の推進	・ 運動やスポーツの習慣化による健康のまちづくり ・ 温泉等との連携による予防医療活動 ・ トップアスリートとの触れ合いを通じたスポーツ人口の増加
②うきは的健康事業の推進	・ 就学前児童への水泳などスポーツや運動習慣の推進 ・ 健康に結びつく事業同士の連携
③生きがい対策プログラム	・ コミュニティや各種団体など職場と家庭以外の第3の場への参加の推進 ・ 市民のボランティア活動の促進
④ウォーキングのまちづくりの推進	・ スマホアプリを活用した健康づくりや地域通貨との連動も視野に入れたスポーツの推進

1. 第2期うきは市ルネッサンス戦略



4 時代にあったうきはの 地域づくりと広域的な地域間連携

概要	価値観の多様性や新型コロナウイルスの影響もあり、社会環境が変化する中で、働き方改革や新たな生活様式への対応が必要になっています。うきは市の地域づくりにおいても、今後の社会のあり方を見据えて対応を図っていくことが重要となっています。
KPI	現在（令和元年）、年間 31 件（うちの交流を伴うもの：19 件）実施されている広域的連携事業（単なる会議等は除く）を、令和7年までに 50 件（うちの交流を伴うもの：30 件）に拡大します。
ねらい	デュアルライフ（二拠点生活）をはじめとした多様な居住形態の実現や、地理的空間を越えた多様な地域間連携などを通じて、豊かな農村環境の中に存在しているうきは市の立ち位置を明確にし、うきは市としての個性ある地域の活性化を図ります。また、いつでもどこでも学べる生涯学習環境を整え、文化度の高いまちづくりを推進します。

事業一覧

1 デュアルライフを促進します

KPI 地域づくり活動費補助金申請団体数 **13 団体** ▶ **16 団体**

① UJI ターンやデュアルライフの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ UターンやJターン、Iターン、二地域居住生活者等への活動支援 ・ デュアルライフ大使の取組と活用
② つばめの学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会を通じた市外転出者との連携の構築 ・ うきはへの再訪や新たな関係づくりを展開し、出会いの機会の創出と地域活性化の推進
③ 地域おこしリーダーの育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次代のまちおこし団体リーダーの育成支援 ・ まちづくり団体の取組支援
④ ワークেশョンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務地以外の場所に設置するサテライトオフィスの立地促進 ・ ワークেশョンの受入に伴う運営スキルの養成

2 遠隔技術でつながる新たなスタイルを構築します

KPI デジタル申請年間受付件数 **0 件** ▶ **240 件**

① 生涯学習リモート（遠隔）講座の開講	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な講座や新規講座のリモートによる開催 ・ オンライン環境の整備
② 遠隔でつながる見守り活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式や緊急時に対応したタブレット等の整備とコミュニケーションの取組 ・ リモートによる見守り活動の実施検討
③ 各組織の役員の負担を減らす遠隔技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団やPTA、自治会、民生委員等の会合をリモートで実施する ・ 情報収集や発信についてSNS等の活用を検討
④ 協働のまちづくりを推進する遠隔会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモートによる協働のまちづくりワークショップの開催
⑤ デジタル社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 社会の市民手続きのデジタル化とペーパーレス化 ・ デジタル変革に対応する時代にあったホームページの構築 ・ 情報化アドバイザーの活用